



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年10月31日

上場会社名 日本食品化工株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2892 URL <http://www.nisshoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 鈴木 慎一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部主計課長 (氏名) 松田 芳則 TEL 03-3212-9112  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	27,628	△5.5	1,793	134.2	2,049	128.8	1,516	134.5
28年3月期第2四半期	29,222	△2.9	765	△30.7	895	△29.4	646	△25.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,396百万円 (257.1%) 28年3月期第2四半期 391百万円 (△60.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	61.65	—
28年3月期第2四半期	26.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	43,137	19,907	46.1	809.36
28年3月期	43,258	18,682	43.2	759.57

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 19,907百万円 28年3月期 18,682百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	7.00	7.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期 (予想)	—	—	—	12.50	12.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△9.7	1,150	43.6	1,350	31.6	1,050	42.7	42.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社 （社名）、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	32,000,000株	28年3月期	32,000,000株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	7,403,898株	28年3月期	7,403,898株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	24,596,102株	28年3月期2Q	24,599,074株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、緩やかな回復基調にあるものの、新興国や資源国の景気減速や英国のEU離脱に伴う海外経済の不確実性の高まりにより、国内景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

原料とうもろこしのシカゴ相場は、期初350セント/ブッシェル台で始まり、米国の新穀作付後の高温乾燥懸念や南米の天候不順による減産から6月には430セント/ブッシェル台まで値を上げました。しかし、その後米国において生育に適した天候となり、過去最高の生産量が予測されたことから値を下げ、第2四半期末時点では330セント/ブッシェル台となりました。

また、原油相場は期初36ドル/バレル台で始まりましたが、ナイジェリアやリビア情勢の緊迫化等から6月には50ドル/バレル台まで値を上げました。しかし、英国のEU離脱に伴う欧州経済の先行き不透明感からの原油需要減少やリビアの輸出再開による原油在庫の増加から8月には39ドル/バレル台まで値を下げましたが、OPECの非公式会合において増産凍結を協議するとの報道から値を上げ、第2四半期末時点では44ドル/バレル台となりました。

一方、米国から日本までの穀物海上運賃は、期初40ドル/トン近辺で始まりましたが、中国向け鉄鋼原料の荷動き増加等から値を上げ、第2四半期末時点では43ドル/トン台となりました。

為替相場は、期初113円/ドル台で始まりましたが、日銀追加金融緩和や米国早期利上げの観測が後退したことや英国のEU離脱に伴うリスク回避から円高が進行し、7月には101円/ドル台となりました。その後、米国の利上げ観測が再燃したことや日銀の金融政策への期待感から108円/ドル台となったものの、米国の利上げペースが緩やかになるとの見方から円高が進行し、第2四半期末時点では102円/ドル台となりました。

このような状況のもと、当社グループは生産効率の改善、製品在庫水準の適正化及び各種コスト削減に継続的に取り組むとともに、前期に引き続き付加価値製品の拡販に注力しました。

販売面につきましては、糖化製品の販売は、9月の長雨と大型台風の影響を受けたものの、夏場の猛暑の影響等により、清涼飲料向けをはじめとした飲料向け糖化製品の出荷が好調に推移したことから、販売数量は増加しました。また澱粉製品につきましても製菓向け及び製紙向け澱粉製品の出荷が好調に推移したことにより、販売数量は増加しました。

収益面につきましては、原料コストの減少等により販売単価は下落しましたが、販売数量の増加に加え、円高及び重油価格等が低位で推移したこと等により収益は改善しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は276億2千万円となり前年同期比15億9千万円（5.5%）の減収、営業利益は17億9千万円と前年同期比10億2千万円（134.2%）の増益、経常利益は20億4千万円と前年同期比11億5千万円（128.8%）の増益、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億1千万円と前年同期比8億6千万円（134.5%）の増益となりました。

次に、各部門の販売概況は以下のとおりであります。

#### （澱粉部門）

澱粉部門は、製菓向け食品用澱粉製品や製紙向け工業用澱粉製品の販売数量の増加により、売上高は71億8千万円と前年同期比1億3千万円（1.9%）の増収となりました。

#### （糖化製品部門）

糖化製品部門は、9月初旬までの猛暑と天候に恵まれたことから販売数量は増加したものの、販売単価の下落により、売上高は167億3千万円と前年同期比12億1千万円（6.8%）の減収となりました。

#### （ファインケミカル部門）

ファインケミカル部門は、医薬品向け糖化製品の販売数量の増加により、売上高は9億5千万円と前年同期比7千万円（8.2%）の増収となりました。

#### （副産物部門）

副産物部門は、販売数量は増加しましたが、輸入飼料の価格下落の影響により販売単価が下落し、売上高は27億5千万円と前年同期比5億8千万円（17.5%）の減収となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間における総資産は、431億3千万円となり、前連結会計年度末と比較して1億2千万円の減少となりました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が5億9千万円増加したものの、原材料及び貯蔵品が3億4千万円、機械装置及び運搬具が3億1千万円、仕掛品が1億6千万円減少したこと等によるものです。また、負債については、前連結会計年度末と比較して13億4千万円の減少となりました。その主な要因は、未払法人税等が3億円増加したものの、未払金が6億6千万円、借入金（純額）が6億円減少したこと等によるものです。

なお、純資産は199億円となり、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して2.9ポイント増加し、46.1%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下資金という）の残高は、前連結会計年度末より2億9千万円増加し、18億3千万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は26億5千万円（前年同期比15.5%増）となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益20億6千万円に減価償却費9億4千万円及びたな卸資産の減少額6億2千万円を加算した額から持分法投資利益2億3千万円、売上債権の増加額5億9千万円及び法人税等の支払額2億3千万円を控除した額等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は15億7千万円（前年同期比55.1%増）となりました。

これは主として、当社工場設備への投資などの有形固定資産の取得による支出13億円及び短期貸付金の増加（純額）2億8千万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は7億8千万円（前年同期比133.0%増）となりました。

これは主として、借入金の減少（純額）6億円及び配当金の支払額1億6千万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、本日公表しました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### 3. 四半期連結財務諸表

#### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,545	1,835
受取手形及び売掛金	13,768	14,367
商品及び製品	3,878	3,764
仕掛品	2,003	1,836
原材料及び貯蔵品	2,832	2,485
繰延税金資産	428	406
短期貸付金	2,520	2,800
その他	246	250
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	27,222	27,745
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,181	3,332
機械装置及び運搬具（純額）	5,466	5,150
工具、器具及び備品（純額）	178	210
土地	1,862	1,862
リース資産（純額）	134	115
建設仮勘定	649	322
有形固定資産合計	11,473	10,993
無形固定資産	334	314
投資その他の資産		
投資有価証券	3,237	3,126
長期貸付金	5	4
繰延税金資産	804	781
その他	184	174
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	4,227	4,083
固定資産合計	16,035	15,391
資産合計	43,258	43,137

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,023	2,110
短期借入金	5,800	5,910
未払金	3,736	3,067
未払法人税等	236	544
賞与引当金	850	485
役員賞与引当金	5	3
その他	608	640
流動負債合計	13,259	12,761
固定負債		
長期借入金	7,210	6,500
退職給付に係る負債	3,732	3,605
資産除去債務	268	269
その他	104	93
固定負債合計	11,316	10,468
負債合計	24,575	23,230
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,600	1,600
資本剰余金	328	328
利益剰余金	19,054	20,398
自己株式	△2,146	△2,146
株主資本合計	18,835	20,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	128	115
繰延ヘッジ損益	△76	△68
為替換算調整勘定	39	△115
退職給付に係る調整累計額	△244	△204
その他の包括利益累計額合計	△153	△273
純資産合計	18,682	19,907
負債純資産合計	43,258	43,137

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	29,222	27,628
売上原価	24,164	21,482
売上総利益	5,058	6,146
販売費及び一般管理費	4,292	4,352
営業利益	765	1,793
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	47	50
持分法による投資利益	82	234
試作品売却益	0	—
受取ロイヤリティー	16	14
受取保険金	15	9
その他	31	20
営業外収益合計	195	329
営業外費用		
支払利息	58	57
固定資産除却損	4	10
その他	2	5
営業外費用合計	65	72
経常利益	895	2,049
特別利益		
投資有価証券売却益	—	17
特別利益合計	—	17
税金等調整前四半期純利益	895	2,066
法人税、住民税及び事業税	316	521
法人税等調整額	△67	29
法人税等合計	249	550
四半期純利益	646	1,516
親会社株主に帰属する四半期純利益	646	1,516



## (四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	646	1,516
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51	△12
繰延ヘッジ損益	△56	7
退職給付に係る調整額	47	40
持分法適用会社に対する持分相当額	△195	△154
その他の包括利益合計	△255	△119
四半期包括利益	391	1,396
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	391	1,396
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	895	2,066
減価償却費	953	944
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	99	△127
受取利息及び受取配当金	△48	△50
支払利息	58	57
持分法による投資損益 (△は益)	△82	△234
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△17
固定資産除却損	4	10
売上債権の増減額 (△は増加)	△924	△599
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,323	628
仕入債務の増減額 (△は減少)	225	86
その他	△319	△25
小計	2,185	2,739
利息及び配当金の受取額	176	206
利息の支払額	△59	△54
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△4	△236
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,298	2,655
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,005	△1,300
無形固定資産の取得による支出	△9	△27
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	—	35
短期貸付金の純増減額 (△は増加)	—	△280
長期貸付けによる支出	△2	—
長期貸付金の回収による収入	1	1
その他	1	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,016	△1,575
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200	100
長期借入れによる収入	—	1,100
長期借入金の返済による支出	—	△1,800
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△120	△169
リース債務の返済による支出	△17	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△338	△789
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	943	290
現金及び現金同等物の期首残高	364	1,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,307	1,835

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。